

# 函館のまちづくりを考える はこまち通信

Vol. **41**  
2017年7月

発行/函館市地域交流まちづくりセンター

**NPOまつり**  
の  
参加団体は、P11に掲載

第13回

# NPO まつり

道南のNPO・市民  
活動団体が集結!!

日時 **7月30日** 10:00 ~ 14:00

同時  
開催

**まちセン 夏休み工作フェスティバル2017**



箱館チンドン会場ねり歩き



HBCのもんすけが来る



日本舞踊「こ寿々会」  
子ども達のステージ発表



はこまち対談 P2~3

「ふらっと Daimonの藤原さん」に  
施設のことや運営について聞きました

特集 P4・P10

函館に移り住んだ  
「北海道坂本龍馬記念館の期待の新星」  
函館市地域交流まちづくりセンター10周年  
記念企画「まちセン御三家に聞きました」

今号の市民活動団体

① 就労継続支援B型 リバース

② 南北海道創才教育推進会



函館市地域交流まちづくりセンター  
センター長

ふらっとDaimon マネージャー

# 丸藤 競 藤原孝史

藤原孝史 [プロフィール]

1976年釧路市生まれ。東北学院大学工学部卒業後、農業土木設計の仕事を経て27歳で社会福祉士の資格を取得し、札幌の医療機関に勤務。2013年に白ゆりグループに転職し、2015年10月に函館に転勤。

【聞き手】函館市地域交流まちづくりセンター  
センター長 丸藤 競

今回は、2016年10月にオープンした、「ふらっとDaimon」の藤原マネージャーに施設のことや運営への思いなどをお聞きしました。

## 対談

**丸藤** 昨年10月15日のオープンなので、半年以上が経ちましたね。

**藤原** ほとんどん知れ渡って、入ってきてくれて、好きになってくれる人が増えてきているなと感じています。

**丸藤** 入りやすい良い雰囲気ですね。どんな方でもふらっと立ち寄れる「ミニライエリア（居場所）」として、素晴らしいなと思います。

**藤原** 高齢者大学に通っている方の方がりなどもあり、今はシニア層の方が圧倒的に多いです。でも実際は、年齢層もターゲットも特に決めずに運営しています。お子さん連れのママさん達も来て、世代間交流などが進んでいくのがこれからの理想ですね。

**丸藤** 今まで、このような感じで集まれる場はなかなかありませんでしたね。

**藤原** 遠いところから来られる方もいて、近所付き合いと別な交流が生まれています。そこが小気味良いと感じて下さる方もいらっしゃいます。

**丸藤** デパートの中（棒二森屋アネックス6階）での開設というのは、珍しいですね。

**藤原** 買い物などの「ついで」で来られますし、告知も協力していただいています。何より、老舗百貨店なので市民の皆さんの愛着があります。私自身子どものころ家族旅行で来たこと

特集

はこまち対談

「たくさんの方に、ふらっと立ち寄ってもらいたい」



ある「棒二さん」の中で活動できるのはとても感慨深いです。

**丸藤** 場所も伝えやすいですし、お越しただけで最初の二歩目のハードルがとても低くなりますよね。それに、とてもお洒落な空間だなと思います。

**藤原** 家庭的な雰囲気の間所もとても良いと思いますが、お洒落なところに来ていただくことで、新しい気持ちよさが見えてくるのではと思います。こうしました。それと、社会福祉法人函館条さんのお力も借りていますので、この皆さんにも今の時代にあった空間で気持ちよく働いてもらっています。

**丸藤** 一条さんはカフェと雑貨ショップを運営していますね。

**藤原** 施設全体は私どもで運営しているのですが、再委託という形でお願ひしています。お互い支え合いながら、一緒にミーティングをして、同じ思いで笑顔を大切にしながらやっています。

**丸藤** 雑貨ショップは、すごい品数ですね。

**藤原** たくさんの授産施設と連携をとっていて人気です。ここに置かせてほしいという声も多いと聞いています。

**丸藤** カフェのメニューが美味しそうですね。

**藤原** ランチがワンコイン(500円)です。

**丸藤** 飲み物がついてのワンコインは助かりますね。

**藤原** サラダもついてます。(笑)特に、シエバーゼは最初からの人気で、デジタル自体を一条さんが水耕栽培でつくって、これはもう皆さんから大好評です。

**丸藤** 他にも、パスタランチ、おにぎりランチ、ピラフランチなどもあり、食べながらの会話が弾みます。

**藤原** 健康体操が終わった後はタンパク質を控えたいという声があり、トーストセットを新しいメニューに加えたりもしました。(笑)

**丸藤** ニーズに応じていくと、お客様も増えますよね。

**藤原** 多くなってきましたね。新聞にも取り上げていただきましたし、カフェのほうは高校生などもたまに来てくれるようになり、とても嬉しく感じています。

**丸藤** 多目的ホールでは、高齢者大学も始まりましたね。

**藤原** 今年度からは、週二回(木曜コース・金曜コース)の38講座、各コース125名ずつです。すごい人気で、250名定員のところ300名以上に応募いただきました。昨年のオープン直後から行われた半期18講座の受講生からいただいたアンケートをもとに、各回のテーマを考えました。

**丸藤** どのような要望が強かったですか？

**藤原** まずは、健康体操やみんなで歌うような参加型のもの。次に、健康・介護・福祉・医療といった高齢者に身近なもの。函館市の特徴的なことだと感じたのが、歴史に関することです。話を聞いているときの、うなずきかたがとても強いです。(笑)

**丸藤** 函館は、様々な角度から歴史を学べますよね。

**藤原** 函館山の歴史をはじめ、老舗が多いので、そのオーナーさんから歩ん

できた道なども学べると思います。

**丸藤** 多目的ホールは他にも色々な使われ方をしていますね。

**藤原** 一般講座の健康体操、社交ダンス、歌声喫茶などや単発物イベント、お隣の玉光堂さんと連携して歌手のインストライブもやりました。チャリティイベントやフリーマーケットもいいなと思っています。

**丸藤** 私達も使えますか？

**藤原** もちろん使えます。場所代は、機材・備品なども含め無料です。まずは下見もかねて、気軽に相談に来てくださう。

**丸藤** 会議室も無料と聞いています。

**藤原** はい。(笑)あと、ケアマネージャーが常駐している相談窓口があり、それも無料です。どこに相談したら良いのが相談できる、暮らしの相談窓口として利用していただければと考えています。

**丸藤** 一年半前に函館に転勤で来られたということですが、街の印象は？

**藤原** 色んなものが凝縮されていて、近い距離感でなんでもできる便利な街だと思います。アウトドアも、食べ歩きも。(笑)この貴重な函館人としてのひと時を、惜しみなく全部楽しみたいですね。(笑)

**丸藤** 他の施設との連携については、どう思われていますか？

**藤原** みなさんとどうリンクしているか、どのようにつながりが市民の方にとって喜ばれるのか、そういう仕掛けをどうつくっていくか、いいの等を、色々な施設を周りお聞きしていきたいなと思っています。

**丸藤** お互い、ライバルではなく仲間ですからね。

**藤原** ふらっとDaimonだけが賑わっているというのは、全然よろしくありません。他の施設の情報なども提供していきたいし、利用者が一か所だけじゃなく、色々周れる仕組みも必要だと思っています。

**丸藤** そのほうが、各施設のためにもなりますし、何と言っても地域に住んでいる皆さんのためになりますからね。  
**藤原** ふらっとDaimonが命を授かって自分の足で走り出す、というのがあるべき姿だと思っています。私たちは、あくまでそれをサポートしていく立場という思いです。

**丸藤** これからの夢は？

**藤原** 今よりもっと多くの方に利用していただきたいですね。行ったことはなくても市民全員が知っている、というくらいまでになりたいです。(笑)

そのためにも、まずはふらっとDaimonをこの記事で初めて目にした方は、どんな所かを考えずに、(笑)まずは、ふらっと足を踏み込んでもらいたいです。棒二森屋アネックス6階お待ちしています。月曜定休の、10時から17時まで開いています。お待ちしています。のぞくだけでもいいですよ。(笑)



**ふらっとDaimon**  
Operated by 09076-7

函館市若松町17-12  
棒二森屋アネックス6階

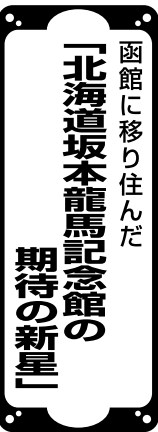
TEL / 0138-26-1188

営業時間 / 10:00 ~ 17:00  
定休日 / 月曜日



## 移住サポートセンターより

函館に移住された方をご紹介します。



「記念館の新しいイメージに向けて、協力してもらえないだろうか。」北海道本龍馬記念館の三輪館長から、声を掛けていただいたのは今年初めのことでした。

縁あって記念館建設に向けての活動に出会ったのは、十数年前のこと。それから建設までの間、東京・横浜を中心に、PR活動や募金活動を微力ながら行なっていました。建設後は、私が横浜で生活していたこともあり、記念館とはやや疎遠になっていた中での今回のお誘いでした。



「函館に行ってみたくはいいんだけど、いかな?」

妻にお伺いを立てたところ、「(自分)に合っていると思うから、行ってみたいわいよ。」

北海道で生まれ、中学・高校時代を札幌で過ごした妻は、そう言っていて背中を押してくれました。こうして自身初、北海道で生活することが決まったのです。

函館を訪れるのは、約20年ぶり4度目。初めて来たのは、約26年前。そして、過去3回の来函は、すべて夏。伝統の夏競馬、函館記念観戦が主な目的の旅でした。たしか結果は、芳しいものではなかったようにな…気がします。それはさておき、日本で唯一、スタッドから海が見える競馬場からの風景は、夏の日差しと相まって、鮮やかな眺望だったことを覚えています。また、友人と一緒に食べた穴子(鰯)のとろける美味しさも、忘れることはありません。

もちろん、それだけではありませんが、函館そして北海道に対するイメージは、総じて良いものでありましたし、これはおそらく、関東の人間には通じるものがあると思います。しかし、横浜を発つときに気になることもありました。それは、函館は観光地としての人気は全国トップクラスだが、人口流出に歯止めがかからない、というニュース。よって、今回の函館入りは、期待8割、心配2割とい

った感じのものでした。

4月1日の夕方、まだ寒さが続く函館空港に降り立ちました。空港からバスで西部地区に向かっている最中、まず思ったことは、あれ、函館って、こんなに寂しい感じだったかな?これまでと感じが違う…:~:ということだったので。心配2割が頭をもたげましたが、それは、以前に来たときは季節が異なるし、冷たい風が吹きすさぶ夕刻だから、そんな風を感じるのだな、と思うようになりました。

そして、函館での単身赴任生活が始まり、街の散策を始めてみますと、私の住む西部地区は、異国情緒が漂い、それでいてどこか懐かしさを感じさせ、郷愁の想いに駆られる場所です。とても心地良い。八幡坂や市電の青柳町付近などは、映画の撮影にも使われるとのことで、風情があり、眺めも素晴らしい。本当に大切にしたい貴重な地域だと、改めて思います。(ついでですが、競馬場も大変きれいなついででした。)

ただ少し残念なのは、あちこちに空き家や空き地が目立つことでしょうか。これは、函館市が抱える人口減という問題に起因しているのでしょうし、ひょっとしたら、この問題が、4月1日の第一印象に繋がっていたのかも…:~:と思うようになりました。

そこで人口について、少し調べてみました。函館市の人口は、30年前と比べると約5万人減少しています(31万

人↓26万人)。

比べてみたのは、かつて旅した最もお気に入りの街ひとつ、長崎市。函館と長崎は、共通点が多い印象があります。幕末の開港街、異国情緒、夜景が有名、市電が走る、坂が多い…等々。函館と同じく良いイメージを持つ長崎市の人口(42万人)は、30年前からほぼ横ばいです。

もうひとつ、比べてみたのは大学時代を過ごした街、富山市。市電が走っていることくらいしか、目立った共通点はないですが、30年前の人口は、函館とほぼ同じ31万人。それが、現在は約10万人増加の41万人になっています。

函館と似通っている部分の多い長崎、そしてコンパクトシティを打ち出してきた富山の街から、改善のヒントになることはないだろうか…。そんなことを思います。

もちろん私は素人ですから、具体的な対策を述べられるわけでもありません。しかし、縁あって市民となった函館の街が、ずっと良い街であってほしい、という願いはあります。

これからも、もっと街の魅力を見つけて、もっと街を好きになり、そしてもっと多くの人々にこの街を好きになってもらいたい、と思います。北海道本龍馬記念館を通して、少しでもその力になれば、と考えています。

柳田 善徳



冬が長くて夏が短い

北国の不思議な季節感

今となつては、もう何年も前のことになりましたが、旅行者として函館に来るようになって、いちばん驚いたのは季節感でした。

関西では梅雨の時期に見ごろを迎え、夏には姿を消すはずのアジサイの花（正しくは花ではなくガクだそうです）が夏から秋に真っ盛り。3月末から4月初旬に到来するはずの桜前線が、こちらではゴールデンウィーク前後にやってきました。

2月の中ごろ沖繩に行き、すでにその年の「桜まつり」が終わっていた



秋深し、アジサイがこんなに元気で驚いた(11月14日、旧イギリス領事館で撮影)

ことに驚愕した記憶がありますが、日本列島というのは南北に長いということを実感しますし、北に行けば行くほど春の到来が遅いわけです。

まあその分、冬が来るのも遅ければ、単に季節がずれるというだけの話ですが、逆に北国は冬が早い。常識的に考えれば、これは由々しき問題です。全国どこでも平等に365日ある一年の中で、春、夏という活動的になれるはずの期間が短いわけです。生産性にもハンディキャップが生じて然るべきかもしれません。

寒いはずの北海道で、ビールに氷

これも古い話ですが、昭和が終わる平成の幕開け、バブル経済真っ盛りどころ、旅行で冬の北海道を訪ねることになりました。

インターネットもなかった時代ですが、一部のテレビや雑誌で、「札幌ではロック・ビールがブームになっているらしい」「みたいなのがささやかれています。

どうやら北海道限定で、9度というアルコール度数の高いビールが出ていて、お洒落な道産子たちは、それをオン・ザ・ロックで楽しんでいよ、といつのです。

よし私も是非、北海道でロック・ビ

ールを、と意気込んだ反面、どうして極寒の冬の北海道で、わざわざビールに氷を入れて飲むのだから、という素朴な疑問が湧き上がってきました。当時の感覚では、ビールは夏の飲み物というイメージが強かったように思います。

しかし北海道に来てみると、すぐにその謎が解けました。ガンガン暖房するため、関西の冬よりはるかに暑く、喉もじりじり渴いてきます。

呑兵衛ならビールが飲みたくなるのは時間の問題。また同時に、雪印パーラーのアイスクリームが、当時の北海道旅行者の憧れだった理由もよくわかりました。北海道の室内は冬でも真夏並みだったのです。

寒さを逆手に

時は流れ、今やコンピュータ時代。ビジネスに大規模なサーバーは不可欠であり、それを収容するサーバー・ルームの冷房コストにも企業は頭をいためるようになりました。

小さなノートパソコンにも冷却用のファンが組み込まれているくらいで、とにかくコンピュータというのは、熱を放出するものです。

業務用のサーバーともなれば、発熱も半端ではありませんし、サーバ

ーの破壊や誤作動の原因ともなり、企業存亡の大問題になりかねません。当然冷却するわけですが、そのコストがバカにならないらしいのです。

ならばせめてサーバーだけでも、北海道のような冷涼な土地に設置すればどうでしょうか。冬場は雪も冷却に使えます。高速通信も発達した今、さほどのタイムラグもなく、大幅に冷却コストが削減できます。

もちろん素人の私が言うまでもなく、何年も前からそういう取り組みは始まっていますし、寒い立地を活用したサーバービジネスも出てきているようです。

しかし新聞、テレビの報道を見る限り、相変わらず、地域振興といえど即観光、という図式に偏っているように感じます。地域が富を生み出せるのは観光だけではない。マスメディアには、もっとそういう情報発信を期待したいものです。

★プロフィール★

おおにし つよし  
**大西 剛**さん

1959年生まれ、大阪出身。  
2011年秋より函館に移住し、「新函館ライブラリ」を設立。通り一遍の観光客ではなく、コアな函館ファンに訴えるような函館本の出版に取り組む。本年は、スマホに頼らず函館情報を携帯できるよう、既刊の本格的函館案内書「市電でめぐる函館100選」を分冊・豆本化。

NPO・市民活動団体紹介のページ

就労継続支援B型  
リバース

■どんな団体？

一般就労の難しい知的・精神・身体 の各障がいをお持ちの方に、軽作業やものづくり等生産活動の機会を提供しています。利用者おひとりおひとりの障がいやニーズに応じて、楽しく元気に働くことができますよう、様々な訓練・活動を通して効果的にサポートします。

送迎サービスを行っておりますので、ご自身で通うことが難しい方もご利用いただくことが可能です。



さまざまな個性をイメージしたロゴマーク

■団体のPR

リバースは「軽作業」と「ものづくり」の2本立てで活動をご提案します。

協力企業から委託を受け、製網ロープの金属を取り外す等の軽作業に加えて、クラフトギャラリーのシールやギフトバッグを制作しています。その他陶芸や羊毛フェルト、リース制作等ものづくりも盛んに行っており、道内外で活躍する作家の協力を得て取り組んでいます。多様な活動をご用意しておりますので、利用者の希望やニーズに応じた訓練を行うことが可能です。お洒落な建物もリバースの魅力のひとつです。作業室はオーシャンビューの美しい景色が広がっています。そんな素敵な空間で心豊かに生き生きと、いろいろな物事に挑戦していただきたいと願っています。

事業所名『リバース』の意味は、Re(もう一度)+birth(生まれる)、新生・再生です。働くことを通して新たな自分と出会い、笑顔でスタートしませんか！

「こころゆたかに自分らしく  
働こう 学ぼう 楽しもう」

■会員募集など

見学や体験利用を随時受け付けています。まずはお気軽にお問合わせ下さい。また、市の窓口や相談支援事業所で相談や手続き受けることも可能です。

その他、一般市民向けにも陶芸のワークショップを実施します。出張陶芸教室も受け付けております。是非ご利用下さい。

■これからの活動

各種イベントで展示・販売を行います。市民の方や他事業所との連携をとり、地域に根付いた活動に取り組みたいと思います。

また、事業所内では登山・自然散策・バーベキュー等、季節を感じるレクリエーションを行い、明るく活気のある事業所を目指します。



陶芸、羊毛フェルト作品

就労継続支援B型 リバース

- 代表者名／朝倉 宣明
- 事務局名／小橋 由実
- 電話／0138-83-7333
- FAX／0138-83-7393
- メール rebirth@wave.plala.or.jp

## NPO・市民活動団体紹介のページ

# 南北海道創才教育推進会

### ■どんな団体？

小中学生を中心とした子どもから大人までを対象に、理数系のユニークな授業を行うことで、算数・数学のおもしろさ、学び考えることの楽しさを体験してもらい、郷土と日本の人材育成に貢献することを目指して活動しています。

「創才」とは大数学者・広中平祐先生が作った言葉で、「誰もが持つ秘められた才能を発見し、創り、育てること」を意味します。当会の開催する授業がきっかけとなって、自分の隠れた才能を引き出していただけだと願っています。

### ■団体のPR

当会は1980年代に函館の書家の中島莊牛先生(まちセン)階に飾られている「月白風清」を書いた方が中心となって大学誘致運動を始めた市民団体が前身です。広中先生が構想した「湧源大学」を実現しようとして活動し、公立はこたえて未来大学の開学に繋がりました。

その後、小中学生向けの新たなセミナーを大沼という素晴らしい土地で開くことと平成18年から始めたのが「創才セミナー」

「です。平成25年からは「算数オリンピック」

にチャレンジ！」も始めました。毎年大勢の方々が「はらはら ドキドキ わくわく」がいっぱいの授業を楽しんでいます。「もともと算数が好きではなかったのですが、去年の授業を受けて算数が大好きになり、今では一番の得意科目になりました」

「子どももの時に算数のこんな授業を受けてみたかったです」など、たくさんのご好評をいただいています。



今年5月に開催した「算数オリンピックにチャレンジ！」の様子

「創才」とは  
自分の隠れた才能を発見し、  
創り、育て上げること

### ■会員募集

当会の活動を続けるには、地域の皆様のご支援が欠かせません。入会して活動を支えていただける方を募集しております。年会費は105000円(回数随意)です。

また、会員になるかどうかに関わらず、事務作業やセミナーの運営を手伝える方も歓迎いたします。(少ない金額ではありませんが、報酬をお支払いします)ご興味のある方はメールか電話でご連絡ください。

### ■これからの活動

8月20日(日)に「算数・数学を楽しもう！南北海道創才セミナー」を大沼国際セミナーハウスで開催します。

講師は「算数のプロ」細水保宏先生と「しろろはかせ」山崎詩郎先生。算数と科  
学で遊べる楽しい授業です。ぜひ来てね！



昨年8月に開催した「南北海道創才セミナー」の様子

## 南北海道創才教育推進会

■代表者名/山崎 文雄 ■事務局名/船矢 直子 ■会員数 56名  
 ■電話/090-3779-9824 FAX/050-3737-2444 ■メール sousaikyouiku@hotmail.co.jp  
 ■ホームページ <http://sousaikyouiku.cocolog-nifty.com/blog/>



# NPOワンポイントアドバイス!

～催しを時間内に終わらせるためのポイント～

講演会や研修会等は、ついつい予定終了時間をオーバーしてしまいがちです。

そこで今号では、講演会や研修等を予定時間内に終わらせるための主催者側のコツをお伝えします。

## 1. 講演者へ依頼の時点で、要点を明確にしておく

ただ「〇分をお願いします」ではなく、必ず話してほしいトピックや順番、催し全体の進行や内容も伝え、時間厳守の理由も含め明確にしておく、講演者も準備がしやすく心構えも違ってきます。

## 2. タイムキープは対応しやすく伝える

タイムキーパーを必ず置きましょう。演者終了予定時間直前から表示を出す(例:「残り3分」「あと1分」など)のではなく、早い段階から表示する方が効果的です。(例:「全体の1/2が過ぎました、残り30分です」など)

## 3. 全体調整をする人をおく

全大会と分科会に分かれる等、複数の部屋を使用する場合、全体の最新状況を把握している調整役を置き、各部屋に緊急メモなどを渡したりしながら全体の調整を図りましょう。

## 4. 「盛り上がっているから・・・」と傍観しない

いくら盛り上がっていても、参加者の中には当初予定時間までしか居られない方もいます。延長したい場合は、予定時間でいったん締めて「希望者のみ〇分延長します」といった対応をしましょう。

## 5. 余裕をもった進行表とすみやかな進行を

多少の時間は調整できる余地をのこした進行表をつくっておくと同時に、事務連絡は前方のスクリーンに示すなど、効率的に進行できる準備をしておきましょう。

## 6. 会場や機材は事前に確認

会場や機材の設置に手間取ることのないよう、事前に確認しておきましょう。

## 7. 懇親会もタイムキープ!

終了後、会場内でゲストや参加者による立ち話の輪ができたり、後片付け等に時間がかかると懇親会の開始時間が遅れてしまい、参加をあきらめなくてはならない人も出てきます。懇親会も含めたタイムキープを心がけましょう。

参考:『NPOマネジメント 72号』IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]発行



### センター長のつぶやき

まちづくりセンター センター長 丸藤 競

先日、Jリーグの村井満チエアマンからお聞きした話です。

2005年にJリーグに入団した選手120名のうち、その後10年(500試合)で何試合に出場したかを調べると、1試合もピッチに立てず引退した選手が21名と最も多かったそうです。同時にサッカーはとても理不尽なスポーツだと言います。足を使うためミスは連続ですし、怪我の率も高く選手生命を絶たれることもあります。実力があってもチームメイトとの関係性で力が発揮できなかったり、監督の構想から外れると試合に出してもらえません。とても厳しく、心がボキボキ折れ続ける

世界です。

そのような中、05年組で日本代表になった本田圭佑や岡崎慎司、西川周作はどこが違ったのかを、50項目以上にわたり調べ分析したそうです。実は、彼らは基礎体力や技術ではむしろ劣っていたし、負けず嫌い度もプロとしては当然のレベル程度でした。心技体が図抜けていたわけではなかったのです。

ではどこが違ったのか。実は、「傾聴力」と「主張力」そして「自己啓発力」が極めて秀でていたそうです。成長するためにどうすればいいのかを人に聞いて、自分の中に落とし込むことができ、なおかつ、ただ言われた通りにやるのではなく「私はこうしたい」と主張できる。村井さんはこれを「リバウンドメンタリティー」と表現し、サッカーに限らず社会で活躍している人が持つ共通の能力だと紹介してくださいました。

とても分かりやすく、やる気にもさせてくれた村井チエアマンに、感謝感激したひと時でした。





▲函館夢心さん



▲手づくりショルダーバッグ

福祉の店  
どんぐり  
2号店

(まちづくりセンター1階)

5月から6月にかけて、春爛漫の時期になりますと小学校や中学校では、運動会や体育祭が行われています。今年は天候が不順のため、延期等で各校の先生方は頭を悩ませていました。教育の現場で大きな問題になっているのが、児童虐待です。教師が生徒を。養護者が児童を。身体的虐待や性的虐待の事件が起きるたびに、心を痛めている方は多いのではないのでしょうか。虐待事件は児童だけではなく、最も多いのは高齢者虐待です。養護者だけではなく、施設職員が虐待をしているケースが報道されています。障がい者に対する虐待も多く、虐待防止法があるにもかかわらず、年々事件が増加しています。人権を無視し、偏見に満ちた差別や、人命にかかわる虐待が起きるたびに、人を人として見てほしい、そして人権を擁護する社会になるよう、祈念していききたいものです。

福祉の店「どんぐりⅡ」は元気に活動をしています。ぜひお立ち寄りください。

■営業時間 / 10:00~16:00  
■定休日 / 土・日曜日・祝日

製品は、函館市総合福祉センター1階・函館市役所地下売店でも販売しています。

新しい施設やお店が次々とオープンし、楽しそうな夏の始まりですね。先日は、古い銀行と商業施設をリノベーションしたホテルのレセプションパーティーにお邪魔してきました。気まぐれひとり旅好きだった私には、ドミトリーはわくわくしますね。今はなかなか旅に出る時間もありませんが…。せめてお休みの日に港の見えるレストランで、のんびりランチしましょうか。

◎マーメイド募金のご報告

前号でお知らせした水保甘夏のマーメイド。たくさんの方が関心を寄せてくださり、おかげさまで早々に完売いたしました。売り上げ9,120円を「ほんわか」さんにお渡ししました。今年も福島の子どもたちが夏休みに保養にやってきます。お買い上げくださった皆さま、ありがとうございました。

◎新メニュー

「バナナとチョコのホットサンド」  
甘いものを作りがなくなって、試作を重ねていました。ほんの少しマーメイドを挟んで、バナナチョコとオレンジチョコの両方の風味が楽しめるようにしてみました。  
焼きバナナ、ご存知ですか？  
かつてタイに行ったときに、屋台の焼きバナナを食べました。日本で売られているものより小ぶりのバナナを炭火でじっくり焼いて、シロップをからめたもの。焼きいものような食感と甘さに病みつきになりました。このホットサンドはタイの焼きバナナを思い出させる何かがあります。やけど注意ですが、熱々をぜひお試しください。

cafe DripDrop★米田尚子



煎りたて珈琲と  
地物野菜メインのお食事

cafe DripDrop

カフェドリップドロップ



「チョコバナナのホットサンド」焼く前はこんな感じ

■営業時間 / 10:00~18:00  
■定休日 / 水曜日

ホームページ

<http://handpick.cafe.coccan.jp/>

**「まちづくりセンター10周年企画  
まちセン御三家に聞きました！」**

函館とともに歩んできた函館市地域交流まちづくりセンター。2007年4月開館以来、多くの方に支えられおかげさまで10周年を迎えることができました。

10周年を記念する企画として、函館の市民活動とまちづくりセンターにスポットをあて、3編構成にて、みなさんにご案内します。10年を振り返る過去編、函館の今、現在編(次号)、これからの函館、未来編(次々号)を予定しています。



開館以来、10年まちづくりセンターを支えてきたスタッフ3人(丸藤競(センター長・写真中央)、横内輝美(左)、

澤田石久巳(右)に、聞きました。前号の表紙で、10周年の10の数字をユーモアに体で表現してくれたまちセン御三家。今回は、シリアスモード？

**まちセン御三家のうなごり**

**澤田石** 私なんかまさしくこの仕事が好きたくて、センター長のところに強引にいつて、とにかく働かせてくれと、あいさつにきました。センター長の動きも知っていました。自分の地元こんなものができる、黙ってられないと思っ

て、動き始めた。待ちに待った施設。まちづくりをするという部分の中に、私自身ずつと消防・防災をやってきました。その経験を活かしながら、楽しいまちづくりの根底、安心・安全ということをね。底辺の部分でもって、少し役にたてるかなと。

**横内** 僕はもう40年も前から市民運動というのに関わっていて、各団体のところで歌を歌いながら、20、30の団体運営を手伝っていた。その人たちや知り合いに、使いやすさなんか話して、ここを使ってもらえるように話ができ

**まちセンの船出！**

**丸藤** 函館にまちづくりセンターができた場合、どんな雰囲気になればいいのか、どうすれば成功するかということを考えていくため、オープン3年くらい前から教育大学の学生さん等と定期的に集まって議論を重ねてきました。全国の事例なども参考にしました。

実際にNPOで活動している方々をはじめ色々な人とお会いして、意見も聞きしました。実は、そこにけつこう時間をかけたんですよ。

で、出てきた結論が、がんばりがめにするのではなく、自由で居心地が良いことが大切だということです。今も、私はあえて細かなことは言わないようにしています。何も考えていないような感じを持つ方もいるかもしれませんが、実は長い時間議論したことで導き出されたものです。今でも、この形が一番いいだろうなと思っています。

**まちづくりは、心づくりに**

**丸藤** そのためにも、できているかどうかは分かりませんが、スタッフに対してもなるべく楽しく働けるような雰囲気にしたなどは考えています。あんまり細かなことを言わない。重箱の隅をつつくような感じでギスギス言われるとモチベーションが下がりますよね。何かまずかったという時は、実は本人が一番分かっていると思うんです。

それよりも、楽しく仕事できている方が、自分でも気が付かないうちに熱心に仕事に取り組みむようになるし、自らが気がつき直していきけるようになる。結果、仕事の効率も効果もよくなっていく。というのが理想ですね。最初からそう思うて運営してきました。

理想論かもしれないし難しいこともあるけど、スタッフを信頼してやっています。

**澤田石** 人ですから難しいですよ。

**丸藤** 人から言われてシブシブやることって、育ちがないように思うんです。逆に、自分から気がつくって本物になる。時間はかかるけど、自分から気がついてもらいたいというふうにも思っています。

**澤田石** ある研修会で「それ手だすな、待てよ」って、センター長に声かけられて、なるほど、これ俺やってしまったら、この人できないもんあつて。

**横内** 自分で見つけなきゃダメなんだよね。誰かに言われてからなんじゃなく。

**10年前の自分にひと言**

- ・楽しいと思うことをやるとけば、大丈夫だよ！(丸藤)
  - ・いつも心に歌を！(横内)
  - ・志は同じだ！(澤田石)
- 澤田石さんにセンター長よりツッコミが入りました。「過去の自分にちよつとしゃべりすぎないほうがいいよ」とかつてないの？

次号では、現在編を掲載予定です。お楽しみに。

**あとかき**

10周年ということで何か形に残したいと思ひ、まちセン御三家に話を聞きました。開館前の動向、当時の思いを聞け、また、開館から10年経ち、やり方や形はかわれども、志はなにも変わっていないという言葉に活動の原動力を感じました。

(聞き手 まちセン5年目 谷口真貴)

まちセンからのお知らせ

# 第13回 NPOまつり 参加団体

(順不同)

- 就労継続支援B型リバーズ  
 NPO法人 北海道坂本龍馬記念館実行委員会  
 手づくりボランティア工房「エンジョい」  
 子どもと遊び隊 スマイルマーケット  
 択捉島水産会  
 函館生涯学習インストラクターの会  
 NPO法人 みんなのさぽーたー わっとな  
 北海道自閉症協会 道南分会  
 エアロ&ストレッチサークル レラ  
 公益財団法人 北海道移植医療推進財団  
 喪の悲しみを癒やす会  
 函館映画鑑賞協会  
 函館手工芸の会  
 脳外傷友の会 コロポックル道南支部  
 はこだて検定合格者の会  
 函館メサイア教育コンサート実行委員会  
 NPO法人 日本FP協会 道南支部  
 北海道ユニバーサル上映映画祭実行委員会  
 折り紙の会  
 NPO法人 函館市電の熟練工の技を伝える会  
 函館チンチン電車を走らせよう会  
 一般社団法人 函館YWCA  
 NPO法人 ウィメンズネット函館  
 北海道作業療法士会  
 コーチングワークショップ函館  
 NPO法人 ケアマネジャーネットワーク函館  
 函館市共同募金委員会  
 函館市社会福祉協議会  
 函館将棋倶楽部  
 シルバー囲碁友好会  
 しそーらす  
 北海道言語聴覚士会 道南支部  
 北海道理学療法士会 道南支部  
 函館の文学と音楽の会  
 教育音楽ぐるーぷどるちえ  
 絵本読み語りグループ「マシュマロ」  
 函館の音楽と歴史を考える会  
 函館中途失聴者・難聴者協会  
 NPO法人 つむぎ  
 ストップ大間原発道南の会  
 函館・「下北」から核を考える会  
 NPO法人 のぞみ会 変形性股関節症の会 函館地区会  
 トラスト  
 函館地方腎友会  
 ムックリ高島とその七味  
 函館こども劇場  
 ゆうとぴあ友の会  
 NPO法人 シンクタンクグループ 函館スローマリン  
 TBⅡ(サンダーバード2号)  
 NPO法人 ひまわり  
 NPO法人 函館市体育協会  
 函館リコーダー音楽祭実行委員会  
 NPO法人 函館レクリエーション協会  
 函館の歴史を学ぼうかい  
 函館障がい者地域生活支援事業所連絡協議会  
 NPO法人 小呂野  
 まちづくり千絵画教室  
 NPO法人 自立の風かんばす  
 NPO法人 グリーンサービス  
 函館演劇鑑賞会  
 就労継続支援B型事業所 あいりす  
 函館生涯学習インストラクターの会  
 認定NPO法人 函館視覚障害者図書館  
 NPO法人 ナルク函館はまなす  
 NPO法人 NPOサポートはこだて  
 NPO法人 日本障害者・高齢者生活支援機構  
 (中島れんばいふれあいセンター)  
 こ寿々会  
 朝鮮女性と連帯する函館の会(トンムの会)  
 北海道メンタル評議会  
 箱館チンドン  
 NPO法人 シーズネット函館支部  
 健康生活ネットワーク

## 施設利用料金

税込(円)

階	会場名	面積	参考レイアウト		基本料金	
		m <sup>2</sup>	形	席数	単価	金額
2階	多目的ホール	272	シアター	約100	1日あたり	10,000円
			スクール	約60		
	研修室A・B	50	シアター	約50	1時間あたり	500円
			スクール	約30		
研修室C	24	シアター	約30	1時間あたり	500円	
		スクール	約20			
3階	会議室A・B	50	シアター	約50	1時間あたり	300円 (一般利用500円)
			スクール	約30		
	会議室C	24	シアター	約30	1時間あたり	300円 (一般利用500円)
			スクール	約20		

※会場には、テーブル、イス、ホワイトボード、空調設備を備えています。※駐車場/2時間無料、超過30分までごとに100円  
 ※営利目的(入場料を徴収したり、物品を販売するなど)で使用する場合は、割増料金となります。

### 備品利用料金

備品名	利用料金
音響機材(研修室・会議室用)	1,000円
音響機材(多目的ホール)	2,000円
プロジェクター	1,000円
スクリーン	500円

※その他、設備等については、ご相談ください。

活動支援費 要相談 **1,000円**

### 印刷機使用料金 ※用紙代別

- ① 製版代/1枚……………100円
- ② 印刷枚数/10枚まで……………10円  
(以後10枚毎に10円加算となります。)

※例) 12枚/20円、137枚/140円、1543枚/1,550円です。  
 ※①製版代+②印刷枚数が必要です。  
 ※印刷用紙は各自でご用意ください。また、小銭のご用意をお願いします。

### コピー料金

- ① 白黒/A4・B4・A3……………1枚 10円
- ② カラー/A4・B4……………1枚 50円
- ③ カラー/A3……………1枚 100円

### 横断幕プリント/ ポスタープリント料金 ※用紙代含む

- ① 610mm×1.5m……………1枚 2,400円
- ② 610mm×3.0m……………1枚 2,600円
- ③ 610mm×4.0m……………1枚 2,900円
- ④ 610mm×5.0m……………1枚 3,200円
- ⑤ A2版(420mm×594mm) 1枚 1,200円
- ⑥ A1版(594mm×841mm) 1枚 1,400円

※横断幕は文字原稿、ポスターはチラシ又はPDF形式で原稿をお持ちください。

### ■【各施設の使用申し込みについて】

- 利用日時、利用目的をご確認のうえ、TEL.0138-22-9700、または、函館市公共施設予約システムよりお申し込みください。  
<https://yoyaku.e-harp.jp/hakodate/>

【お問い合わせ】



## 函館市地域交流まちづくりセンター

〒040-0053 北海道函館市末広町4-19

TEL.0138-22-9700 開館時間 AM9:00～PM9:00

FAX.0138-22-9800 休館日 年末年始(12/31～1/3) ※器材点検のため月1回程度臨時休館する場合があります。

ホームページ <http://hakomachi.com/> 函館 まちセン

【指定管理者】NPOサポートはこだてグループ